

## 二つの影

光吉 恒亮 (BS 佐賀県連盟白石第1団)

みなさんは、スカウトソングの中で、「まなこひらきて みきわめよ  
みみ そばだてて ききただせ」という歌は知っているよね。みなさん  
はいろいろなものをちゃんとしっかり見ているかな。ちゃんと見ていくと  
いっぱい興味がわいたり、感動したりします。

たとえば、本願寺（西本願寺）の御影堂の向拝の左右に、石でできた  
大きな天水受けがあるのを知っているかな。その天水受けの下をよく見  
てみると、「天邪鬼(あまのじゃく)」がいろいろな顔や、格好をして下か  
ら支えていることに気がつきます。380年もの長い間、こうして「天の  
邪鬼」が支えてくれているから、天水受けは、天水受けとしての役割を  
果たすことができたのではないかな。

それでは、みなさんのスカウト活動を想像してみてください。キャン  
プに出かける時、いろいろな準備をしなければなりません。そのためにど  
れだけ家族が支えてくれているでしょう。キャンプで安全に活動できる  
ため、隊長や、周りの人が、どれだけサポートをしてくれているのでし  
ょうか。楽しかったキャンプもそんな支えがあったからなのです。それ  
は、スカウト活動だけではありません。私たちはこの世に生を受け、今  
までにどのくらい食事を取ったのでしょうか。どれほどの人に支えられて  
きたでしょう。たくさんの方がたのご苦労や、たくさんの方の命で生きてい  
ます。いや、生かされています。

みなさんは、キャンプやふだんの遊びの中で、影踏みをしたことがあ  
りませんか。夏の昼間は濃く短い影、夕方は長い影、春や秋は薄い影、  
電灯ではその光にあった影ができます。いろいろな影を、私たちは見るこ  
とができます。しかし見えない影があります。それは「お陰」です。そ  
のことに気づかされるのです。気づかされたとき、「お陰さま、有難う  
ございます」と頭が下がります。そんな見えない影の分かるスカウトで  
ありたいですね。

[スカウトニュース復刻版第5号より]